

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 7月 27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500182		
法人名	医療法人社団 和恒会		
事業所名	認知症対応型共同生活介護 グループホーム ふたばホーム		
所在地	呉市広白石4丁目1番11号 (電話) 0823-76-3315		
自己評価作成日	平成30年 6月 22日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490500182-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490500182-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年7月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者の皆さんには健康でゆっくり過ごして頂く事を目標に、柔軟な対応を心がけています。今春はベランダ一園芸と柑橘ジャム作りに入れました。出来る範囲で皆さんにご参加いただいています。温かい家庭料理や手作りのおやつも好評です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

「ふたばの街」と呼ばれる複合的に高齢者向けサービスを展開する建物内の、3階フロア全体が事業所として運営されており、広い共有スペースを活かした運営がなされている。利用者は時間やプログラムに縛られず、その人のペースで生活することができ、広いスペースとあいまって全体的に穏やかな雰囲気では生活している。広いベランダや職員手作りの衝立なども活用し、利用者個人個人の事情に配慮したケアがなされている。また、家庭的な料理や手作りのおやつを提供など、家庭的な対応によって利用者は落ち着いた日々を送っている。  
事業所は幹線道路に面し、周囲には店舗やJRの駅も近いなど、生活を送るのに利便性が高い。母体法人の人的物資的なバックアップも厚いのが特徴である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b>  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	法人の理念とは別に、職員で話し合っ て独自の理念を作り、取り組んでい る。	職員同士の話し合いを通じ、利用者 にゆったりとその人らしく生活してもら うことを重視することで、現在の事業 所独自の理念をつくっている。管理者 と職員は、その理念を共有し利用者へ の介護に実践している。	
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b>  利用者が地域とつながりながら暮らし 続けられるよう、事業所自体が地 域の一員として日常的に交流してい る。	自治会長と認知症家族の会世話人に懇 意にして頂き常に情報交換している。 施設の行事に地域の方々をお招きした り、ボランティアの受け入れも行って いる。	自治会や民生委員のほか、認知症の人 と家族の会の地域代表とも交流し、情 報交換やお互いの活動の支援などを 行っている。その結果、行事の声掛け やボランティアの受け入れなど、相互 に協力関係を築くことができてい る。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b>  事業所は、実践を通じて積み上げて いる認知症の人の理解や支援の方法 を、地域の人々に向けて活かしてい る。	運営推進委員会において、資料を配っ たり勉強会を行っている。高齢者の総 合相談窓口や、法人内に認知症疾患セ ンターもあり地域の方々の相談にのっ ている。		
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b>  運営推進会議では、利用者やサー ビスの実際、評価への取組み状況等 について報告や話し合いを行い、そ こでの意見をサービス向上に活かして いる。	施設の現状や問題を報告し、一緒に考 えていただき意見交換し、サービス向 上に繋げている。	会議には自治会や民生委員、認知症の 人と家族の会地域代表、家族なども参 加し、事業所運営に関する様々な意見 交換などを行っている。事業所運営へ の提案の中で、ベランダを利用した園 芸やジャムづくり、野菜の栽培方法の アドバイスを受けるなど、会議での意 見をサービス向上に活かしている。	
5	4	<b>○市町との連携</b>  市町担当者と日頃から連絡を密に取り 取り、事業所の実績やケアサービスの 取組みを積極的に伝えながら、協力 関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議への参加依頼の他、会議 の報告を市・地域包括支援センターに 行っている。	行政とは地域包括支援センターを通じ て情報共有や地域活動で連携をとって いるほか、事業所運営に関する制度的 な質問は、直接市に出向いて情報を得 るようにしている。必要に応じ、市と は協力関係を築くようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>利用者の安全のため、玄関の施錠のみしている。</p>	<p>利用者に対する身体拘束防止のための研修会を3か月に1回行っている。また、身体拘束廃止委員会が法人全体で組織されており、身体拘束廃止のための指針をつくり、事業所運営に取り組んでいる。安全に配慮し玄関の施錠は行っているものの、利用者に対する身体拘束予防のための取り組みは継続がなされている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待はあってはならない事で、些細なことでも見逃さないよう確認し合っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員全員が完全に理解しているとは言えないが、成年後見制度については、施設内研修にも取り入れ勉強している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、契約書・重要事項説明書を参照しながら説明し、同意・納得していただけるよう努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の意見を傾聴し、不満等を運営に反映している。意見箱も設置している。</p>	<p>利用者家族の面会の機会を利用し、職員や管理者が家族から直接意見を集めている。過去的生活歴や本人の好みを参考にし、本人の好む生活スタイルの提案を家族から受け、それに合わせた対応を事業所内で取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>申し送りや、ミーティング等遠慮なく意見を言い合える雰囲気の中、意見交換をし、運営に反映させている。</p>	<p>職員からの意見は、管理者が日々直接聞いているほか、職員が気付いたことをメモ書きにし、連絡ノートに貼り付けることで、職員と管理者の円滑な意見交換に結びついている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に面接を行い、働きやすい環境作りに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設内研修の他、外部の研修・講習会への参加を呼びかけ、実施している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同じ法人内、ふたばの家の管理者・職員と交流し、意見交換をしている。又、同一建物内の他施設内の管理者とは常に連携している。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>体験入居をしてもらい様子観察し、本人の要望に傾聴し、対応するよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>面談時、面会時に家族から表出される問題点等に対応するよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>複合施設の利点を生かし、多方面にわたり、利用できる施設を相談させてもらっている。他を紹介することもある。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者に料理の作り方や風習を教えるなど、ゆっくりと同じ時間を共に暮らす関係作り、和める雰囲気作りに努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>細かい点についても家族と相談し、了解を得ながら支援している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>9時から17時まで自由に面会できる運営にしており、多くの方に来ていただいている。</p>	<p>利用者家族の面会も多く、土日祝も関係なく面会できている。また、来客時には必ずお茶を出すようにし、利用者や職員との交流を深めるよう配慮がなされ、本人との馴染みの関係を維持するための支援がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食堂の席順や、入浴日等の調整等で和やかな雰囲気作りが出来るよう気配りし、孤立しないよう、利用者同士の親しい関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去された後も、家族に近況を聞いてりしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者との会話や表情の中から意向をくみ取り、心地良いゆっくりとした生活ができるよう支援している。	利用者の会話の中から本人の希望や意向をくみ取ったり、家族から本人の生活歴や好みを聞き出すようにしている。その結果、例えば靴下の修繕や手料理など、日頃のケアに本人の意向を反映する取り組みにつながっている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	一人ひとりの生活歴を家族に確認したり、利用者にもいろいろな場面で聞くようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一日の体調の変化や現状については職員間の申し送り等により把握し、交代後も継続してケアできるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>職員間で何度も話し合いながら、6ヶ月に1度、介護計画の見直しを実施し、利用者一人ひとりの状態に合った介護計画を作成するよう努めている。</p>	<p>職員の介護記録やモニタリング記録を通じ、利用者の状況をケアマネジャーが把握することでケアプランに反映している。職員は日勤や夜勤の記録を記載し、申し送りを徹底することで利用者の正確な状況を把握するよう努めている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護記録を日勤と夜勤で記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しをしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>利用者や家族の要望に対しては、出来るだけ柔軟に対応するよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>民生委員・自治会長・ボランティア認知症家族の会会員の方等の協力を得ている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力病院の担当医の適切な医療が受けられるようになっている。</p>	<p>母体法人の医療機関に定期的に受診し、健康状態を把握しているほか、必要に応じ専門医の受診支援、地域の医療機関からの訪問診療の受け入れを行っている。夜間や休日でも、当直医のスケジュールを掲示し、いつでも把握できるようにするなど、利用者が適切な医療を受けられるような支援がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	訪問看護師とは日常的に連絡を取り合って、利用者の健康管理を行っている。複合施設内の看護師にも協力を得ている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	病院との情報交換・相談等を行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	入居時重度化や、終末期の対応については同意書で説明し、状態に応じ話し合いをしている。将来的に地域の内科医との連携は必須と思われる。	重度化した場合の対応方法について、入居時や実際に重度化した際など時期に応じて家族と意識を共有している。また、法人内で看護師による対応を受けられるほか、地域の医療機関からも重度化した場合の対応をしてもらっている。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	マニュアルを作成し、利用者の状況に応じて対応できるようにしている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	消防署の協力を得て、年2回訓練を行っている。当施設は災害時一時避難施設として使用していただく協定を地域と結んでいる。	法人全体として地域の自治会と災害時の協定を結んでいるほか、避難訓練の実施、勉強会などで消防署に講師をもらうなど、日常的に災害時の対応を意識している。また、事業所内でもIHクッキングヒーターなど火の出ないような工夫がなされている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。</p>	<p>声かけの内容等、プライバシーを損なわないよう気をつけている。トイレ誘導時にも他者にわからないように行っている。</p>	<p>利用者に対する声かけの方法や、プライバシーの確保のための対策など、職員研修計画の中に位置づけ、日頃の介護の実践に活かしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。</p>	<p>コミュニケーションを密にとり、本人が希望を表わすことができるよう、そして、希望を出来る限り優先させるよう努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>利用者一人ひとりを尊重し、ゆっくり、柔軟に対応している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。</p>	<p>本人の希望で美容院に行ったり、訪問美容サービスを利用してもらったりしている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>利用者の好みを聞きながら、利用者と職員と一緒に準備し、食事・片付けを行っている。</p>	<p>利用者の好みや希望をふまえたメニューを手作りしているほか、栄養バランスをふまえた昼食メニューによる食事提供を受けるなどの配慮をしている。また、食事を楽しんでもらえるように、車いすの方でも台所に立てるシンクになっているほか、食事作りや片付けに利用者に参加してもらっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>献立・食事量をチェック。水分補給に関しても頻繁に声かけをしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後の口腔ケアは，声かけ見守りのもとで行っている。歯科の訪問診療も利用している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録をとり，パターンや習慣を活かして排泄できるよう，トイレ誘導などを行っている。</p>	<p>排泄記録を踏まえた、利用者の排泄パターンを把握し、下剤の量の管理や血圧の把握も行っている。その結果、安定的な排泄に結びついている。また、トイレも広く、男性用小便器もあるなど、利用者が使いやすい構造となっている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排泄管理表に記入し，下剤の調節・飲食物の工夫や体操を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日は決めているが，希望やその日の体調に合わせて柔軟に対応している。</p>	<p>基本的に週2回の入浴ができるほか，希望がある場合にも臨時で対応できる。事業所に設置してあるのは家庭的な浴槽であるが，身体的機能が低下した場合，同じ建物内に特浴での対応も可能である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>一人ひとりの生活習慣や状況に 合わせ、室内の温度等、安眠・休 息ができるよう配慮している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>職員は一人ひとりの薬を把握し 、確認しながら服用してもらっ てる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>利用者が役割を持ち、生活を 楽しめるよう支援している。複 合施設内の行事等にも参加して いる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。</p>	<p>頻繁ではないが、利用者の状 態に合わせて、散歩したり、 ベランダを活用している。 ご家族にも協力をお願いして いる。</p>	<p>近所の大型スーパーへの買 い物や、季節によってお花見 などの外出も事業所の車を使 用し行っている。また、通院 も貴重な外出の機会であり、 利用者の気分転換になってい る。また、家族の協力を得て 外食や墓参りなどが実現でき るよう支援もなされている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>現金の所持はしていないが希 望があれば、家族の了解を得 て購入している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	手紙を書ける方はいないが、届く手紙の受け渡しや電話の支援はしている。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	広々とした共有空間は、常に居心地良く、自由にくつろげる場になっている。壁画や花などを飾り、季節感を出すよう心がけている。	広い空間を利用し、家族の面会スペースの確保や、歩くためのスペースもあるため、利用者の歩行能力が改善する場合もある。また、ちぎり絵や手作りパーティーなど、利用者が居心地よく過ごしてもらえるような工夫もなされている。窓も大きく季節感も感じられる構造となっている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	食卓を囲んで話をしたり、読書をしたりソファーに座りテレビを観たりと、思い思いにゆっくり過ごされている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	居室内は以前から使用の物を持って来られている。本人、ご家族と相談しながら飾り物や花の鉢なども置いている。	個室は広く、すべて南向きに設置されているため日当たりも良い。すべての部屋でベランダに通じ、開放的な雰囲気である。また、洗面台が設置されていることで清潔の確保がなされているほか、馴染みの家具などを持ち込むことができ、本人が居心地よく過ごせるような工夫がなされている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	利用者が混乱、失敗のないよう部屋の表札を大きくしたり、トイレをわかりやすく表示している。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ふたばホーム

作成日 平成30年8月23日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	18	外出の機会が少ない	個々に合った外出支援を行う。	近隣散歩、受診の帰りのミニドライブ。館内行事への参加。テラスの有効活動。ご家族にも協力を乞う。	1年
2	2   14	地域との交流が少ない	地域とのつながりと共に、法人内他施設とも連携を図っていく。	認知症家族の会とは交流を継続していく。地域ボランティアの受け入れを増やす。館内行事への参加を地域に呼びかける。	1年
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。